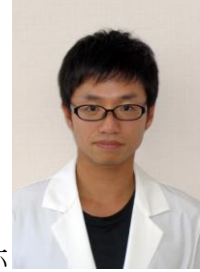


和歌山病院での実習を終えて



岩橋 孝弥

3週間、国立病院機構和歌山病院の呼吸器内科にて実習させていただきました。

5回生でのポリクリ実習で1度見学させていただいたのですが、医大ではあまりみない症例を経験したり、その他手技などの見学をしたいと思い選択ポリクリで選ばせていただきました。

主に気管支鏡や外来を見学し、またお忙しいにも関わらず院長、副院長をはじめとする先生方にご指導いただき大変充実した3週間となりました。今回担当した症例では、容態が悪化し、実習中にお亡くなりになるという経験をしました。医大では経験のないことで、ご家族とどのように接すればよいのか混乱していたのですが、駿田先生と一緒に病棟まで連れて行っていただいたりとフォローしていただきました。このような経験は医師になる上で、避けられないことであるので患者やその家族との接し方というのをこれからも大切にしていこうと思います。

様々なイベントに参加させていただいたり先生方にご馳走になったりした時に感じたことが、医師の間だけでなく、技師さんや薬剤部の方とのコミュニケーションも大事にしているということです。このようなつながりがあることで意見を伝え合うことができ、より良い医療が提供できるのではないかと思います。

また、年代の一番近い研修医2年目の橋本先生や中村先生にもこれからのためになるお話も聞けて、様々な手技も学ぶことができました。南方院長をはじめ、本当に多くの先生方や事務の方にお世話になりました。ありがとうございました。